

<主催事業活動報告 抜粋>

天王洲チャンネルフェス 2024 春夏

- ・開催日：2024年5月31～6月2日(3日間)・総来場者数：3日間累計 21,000人

天王洲チャンネルフェス 2024 秋冬

- ・開催日：2024年10月18～20日(3日間)・総来場者数：3日間累計 25,000人

水辺の勉強会

- ・開催日：2024年4月27日 6月25日 8月22日 10月18日 12月5～6日(基本隔月開催計5回実施)

天王洲アートフェスティバル 2024

- ・山口歴氏による壁画制作。

分科会開催

観光分科会(月2回隔週開催)年間2回はDMO委員会として開催(6月、12月)

DMO申請状況進捗報告、各社観光事業情報共有、観光DX開発、観光ツアー醸成企画



<観光KPI達成状況>

項目 【単位】	2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度		
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
必須KPI									
①-1 旅行消費額 (総額) 【百万円】	全体	4,000	4,553	4,650	6,738	4,700	6,944	7,000	
	インバウンド	400	520	450	862	500	788	750	
①-2 旅行消費額 (一人当たり単価) 【円】	全体	6,000	5,548	6,000	5,784	6,000	5,784	6,300	
	インバウンド	4,000	4,068	4,200	4,323	4,200	4,323	4,300	
直近のKPI達成状況に対する分析 コロナウィルスの影響は完全に払しょくされ2019年以前の実績を上回る。									
②延べ宿泊者数 【千人泊】	全体	100	143	150	279	170	256	263	
	インバウンド	3	10	5	42	7	21	22	
直近のKPI達成状況に対する分析 コロナウィルスの影響は完全に払しょくされ2019年以前の実績を上回る									
③来訪者満足度 【%】	全体	90	90	92	87	93	87	92	
	インバウンド	92	91	93	90	93	91	93	
直近のKPI達成状況に対する分析 依然として高い水準を維持できている。この状態をキープする目標を設定。									
④リピーター率 【%】	全体	60	54	55	55	55	58	55	
	インバウンド	10	9	10	10	10	8	10	
直近のKPI達成状況に対する分析 総数の増加に伴い、相対的に減少傾向にある。総数は増えつつもリピーター率は過去平均をキープする。									
その他の目標									
Webサイトの アクセス状況 【回】	全体	25,000	31,761	33,000	32,415	35,000	42,787	47,000	
	インバウンド	250	406	400	462	420	1,916	2,100	

【調査方法】DMO委員会参加企業中心に聞き取り調査を実施集計

【分析結果】

2020年のコロナウィルスまん延における様々な影響から状況の改善、反動の兆しがみられる。特に宿泊数は大きな改善が見られた2023年以降順調に回復基調である。

自主開催イベントやその他各社の観光事業における動員数も2023年度を上回る実績を残すことが出来た。

インバウンドの来訪も絶対数として増加傾向となってきたが、インバウンド比率に関しては宿泊区以外の項目では大きな変化はみられておらず、インバウンド需要の取り込みに関して課題が残る。

<DMO関連、助成事業、実証事業他>

① DMOの申請と登録

地元自治体（品川区）の推薦、共同申請2024年1月12日。2024年3月29日登録受理。登録番号：第30179号

② 令和6年度 関東運輸局によるDMOの伴走支援事業

上記事業の採択を受け、伴走支援事業者として（株）羅針盤に参画いただきDMO分科会を中心に取り組み、「天王洲・チャンネルサイド活性化協会観光地域マーケティング戦略」として、観光ターゲットなどの方針をまとめた。

③ CANAL ID と TENNOZ NAVI の構築

観光庁「全国の観光地・観光産業における観光DX推進に関するマーケティング強化モデル実証事業」に採択。天王洲アイルの観光地域づくりにおいて、来街者のデータを包括的に取り込む Customer Relationship management(CRM)システムを導入し、地域共通ID「CANAL ID」を構築した。登録者にエリアの情報を発信することで地域来訪のリピーターの獲得を推進した。また天王洲アイルのポータルサイト「TENNOZNAVI」を開設し、観光情報、イベント及び店舗情報を発信する体制を整備した。今後も本件構築を通じて、観光商品の開発や天王洲エリア内外との連携を図り、魅力的なまちづくりを推進する。

<天王洲観光における2025年活動計画>

天王洲・チャンネルサイド活性化協会はさらなる観光地としての天王洲の発展へ向けて、下記観光施策の実施を進めていくものとする。

① 観光DX、マーケティング

観光庁及び地域所轄官庁の関東運輸局をはじめとする研修会やフォーラムへの参加

各種助成、実証、支援事業などへの応募、参画。

観光庁「地域観光魅力向上事業」応募、採択

観光DX分科会開催における情報共有と検討事案検討、推進。（品川区、しながわ観光協会、パナソニック、JTB、日本航空、寺田倉庫 参加）

イベント通じ来場者に対するCANAL IDの獲得。ID取得者に対する来場促進。

② 自主観光ツアーの企画

本件は観光分科会で計画を遂行するものとし、分科会メンバー（パナソニックグループ、JTB、日本航空、寺田倉庫 ※敬称略、順不同）を中心に進める。2024年度のツアー造成、販売に向けて計画を進める。

舟運クルーズ、アートツアー、ヨガワークショップ等

本年度もご協力賜りありがとうございました。来年度以降も各社データ提供や活動に対するご支援お願い申し上げます。

以上



DMO 全国会議 (2024/9/3)



DMO 関東フォーラム(2024/9/26-27)